

三重県立尾鷲高等学校のホームページをご覧ください、ありがとうございます。

本校は三重県南部・東紀州の地にあつて、東に熊野灘を西に紀伊山地の山々を間近に臨み、南北に熊野古道伊勢路が貫く、豊かな自然と景観、歴史が息づく環境にあります。

大正期に創立された県立尾鷲高等女学校と尾鷲町立尾鷲中学校を母体とし、戦後の学制改革によって尾鷲高等学校として一本化されました。以来、今日まで幾多の歴史を刻み、2万人を超える卒業生を地域や社会に広く輩出しています。

この間、定時制課程を併設するとともに、中学校卒業生の増加と高校進学率の高まりに応えるべく、長島高等学校と尾鷲工業高等学校が本校から分離独立しました。

しかし、当地域では平成期に入ると、少子化・過疎化の急速な進行等により、尾鷲工業高等学校と長島高等学校が相次いで本校と統合になりました。

本校は、東紀州の紀北地域で唯一の高等学校となり、来年創立100年を迎えます。地元の中学生の大半が進学してきます。その生徒たちの多様なニーズに応えるため、普通科プログレッシブコース・普通科スタンダードコース・情報ビジネス科・システム工学科の4つの学科・コースを設置し、「個に応じ、個を生かす」を合い言葉に、地域に信頼され、地域の活性化に貢献できる学校となるよう教育実践を重ねています。

生徒には、尾鷲高等学校の生徒としての誇りを胸に自己肯定感を育み、自信をもって全員が、挨拶をしっかりとすることができるよう期待しています。

多くの卒業生の方々の思いとともに、生徒・保護者・地域・教職員がともに、「誇り」をもてる学校づくりを目指し、生徒一人ひとりに対してきめ細かな指導・支援をしています。今後とも、皆様からのご指導・ご支援をよろしくお願い申し上げます。

校長 奥地 克也